

2015/10/25 (Sun.) 第95号

# 日本医師連盟ニュース

日本医師連盟ニュース  
 発行所  
 日本医師連盟  
 東京都文京区本駒込2-28-16  
 〒113-8621  
 TEL: 03-3947-7815  
 FAX: 03-3947-2662  
 E-mail: info01@nichiren.jp

<http://www.nichiiren.jp/>

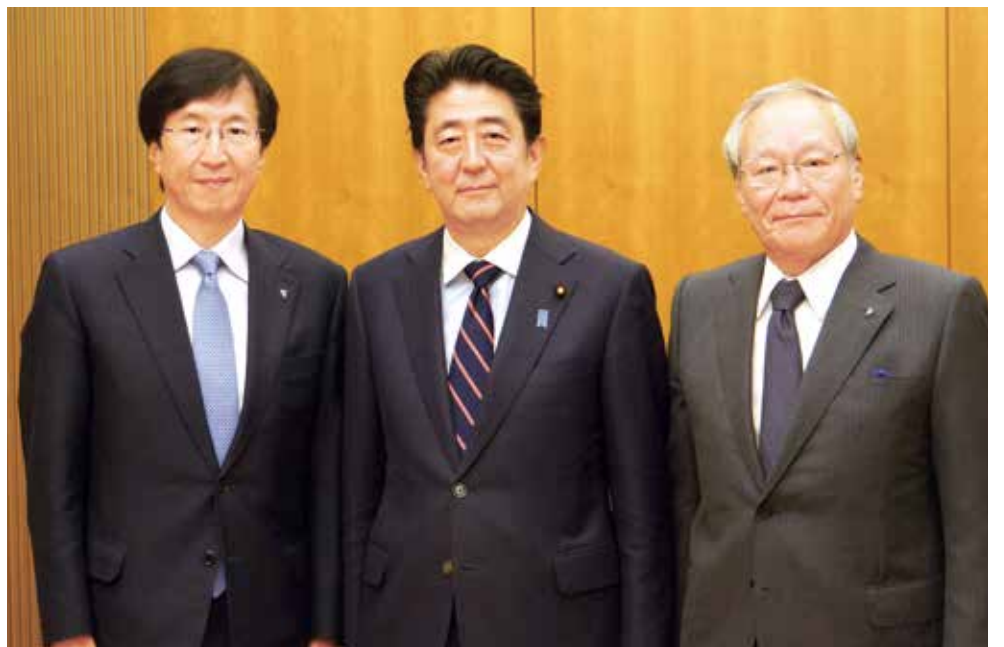
定価 1年400円 (但し日医連負担金を含む)

## 第三次安倍改造内閣発足

# 横倉委員長、安倍総理と面談

面談では冒頭、横倉委員長から、安倍総理に、第三次改造内閣発足のお祝いが述べられた。さらに十月中旬にロシアのモスクワで開催された世界医師会の会議内容について報告を行い、世界の医療界におけるわが国や日本医師会の果たす役割について総理に説明を行った。また、十二月九日に日比谷公会堂で開催予定の『国民医療を守る総決起大会』に関する説明があった。さらに、横倉委員長から

横倉義武日本医師連盟委員長（日医会長）は十月二十一日午前、第三次安倍改造内閣発足のお祝いの挨拶として総理大臣官邸を訪れ安倍晋三内閣総理大臣と面談を行った。



(左から) 今村聡日医連副委員長、安倍晋三内閣総理大臣、横倉義武日医連委員長 (10月21日 総理大臣官邸)

安倍総理に対して、年末の平成二十八年年度予算編成作業においては、適切な医療・介護等の社会保障財源の確保について要請を行った。

この面談には今村聡副委員長も同席した。横倉委員長が安倍総理と面談するのは本年四月以来。横倉委員長は定期的に安倍総理と面談し意見交換を行っており、適切な社会保障財源確保の必要性を訴えている。

## 厚生労働副大臣・政務官 日医会館に来館

第三次安倍改造内閣発足に伴い、新たに厚生労働副大臣に就任したとかしきなおみ氏（自民）、竹内譲氏（公明）、厚生労働大臣政務官に就任した三ツ林裕巳氏（自民）、太田房江氏（自民）が相次いで日本医師会館を訪れ、横倉義武日医連委員長（日医会長）や日医連役員に就任の挨拶を行った。政務官に就任した三ツ林裕巳氏は医師の衆議院議員。



(左から)横倉義武日医連委員長、三ツ林裕巳厚生労働大臣政務官 (10月29日 日医会館)



(左から)横倉義武日医連委員長、竹内譲厚生労働副大臣 (10月28日 日医会館)



(左から)とかしきなおみ厚生労働副大臣、横倉義武日医連委員長、太田房江厚生労働大臣政務官 (10月21日 日医会館)





金井忠男埼玉県医連委員長

**埼玉県医師連盟  
自見はなご支援集会を開催**

九月十七日、さいたま市内で埼玉県医師連盟主催の『自見はなご先生を励ます会』が約五百

名の出席のもと開催された。日医連からは横倉義武委員長、今村聡副委員長、金浩敏常任執行委員が出席した。当日は医師連盟(医師会)会員のほかに、県内の医療関係団体の幹部や関係

### 盛り上がる 自見はなご後援会活動

自見はなご日医連参与は、昨年十一月二十五日の参議院比例代表(全国区)選挙の日本医師連盟推薦決定以来、後援会活動の一環として全国訪問を行っているが、八月下旬に四十七都道府県すべての訪問を終え二巡目三巡目に入った。二巡目以降は各都府県医師連盟(医師会)訪問や医療機関訪問を中心に行われている。

者も出席し、自見はなご参与の支援(後援会)活動に一段と弾みをつける会合となった。

励ます会は松本郷埼玉県医師連盟執行委員の司会で開かれ、金井忠男埼玉県医師連盟委員長から主催者挨拶があり、横倉義武日医連委員長が挨拶に立った。



横倉義武日医連委員長

『励ます会開催と日頃の支援(後援会)活動への謝意、政治を志したきっかけ、医師として医療・介護・福祉分野に携わるすべての人と国民の皆さまとの強固な架け橋になれるよう、日々活動を行っていること、支援(後援会)活動への協力をお願い』について挨拶があった。

そのうち、『ガンバローコール』が渡邊寛埼玉県柔道整復師政治連盟委員長の発声で行われ、結びに、羽鳥雅之埼玉県小児科医会会長の閉会の挨拶で励ます会は閉会となった。



ガンバロー!!



自見はなご日医連参与

**自見はなご氏全国訪問**

**47都道府県訪問1巡を完了**

**2巡目・3巡目へ!!**

**自見はなご Facebook ページオープン!**

<https://www.facebook.com/hanakojimi>



# 「日医連医政活動研究会」開催

## 菅内閣官房長官・

## 丸川参議院厚生労働委員長が講演！

医政活動研究会は、小森常任執行委員の司会で開会し、横倉委員長は次のように挨拶した。

「自民党総裁選挙の結果、安倍総裁の続投が無投票で決定し、今後三年間は安倍政権のもとに政策が決定されることとなった。安倍総理は強い経済の回復を政策の最優先課題としているが、そのなかで、社会保障政策の位置づけについてはさまざまな提言がなされているところである。その提言においては国民の声を反映させることが極めて重要と考えている。そのためにも医療・介護の現場を熟知し



挨拶する横倉義武日医連委員長

日医連は9月13日「平成27年度 第一回日医連医政活動研究会」を東京都内で開催した。当日は、横倉義武日医連委員長ら日医連役員、羽生田俊参議院議員、自見はなこ日医連参与をはじめ全国から研究会メンバー等合わせて約130名の参加のもと、菅義偉内閣官房長官、丸川珠代参議院厚生労働委員長（当時 現：環境大臣）、を講師に迎え研究会を行った。



菅義偉内閣官房長官



羽生田俊参議院議員



自見はなこ日医連参与

ている、我々、医師連盟（医師会）会員が国民の声を聞き、政治に反映させなくてはならない。この「まなこ」が医師連盟活動の原点の一つではないだろうか。と考えているので、多く先生方のご協力をお願いしたい。直近の課題としては『地域医

見参与の政治活動に各都道府県医師連盟・各都市区医師連盟より特段のご協力をいただいていることに感謝申し上げます。引き続きご理解とご支援をお願いしたい。また、各都道府県において都市区医師連盟の先生方と一緒に医療政策や

医政活動の重要性について理解を深めていただくとともに、来年夏に行われる参議院比例代表（全国区）選挙に関し、組織内推薦候補者の意義や政治（後援）活動の方法、具体的取り組みについて一般会員の先生方へ充分周知いただくための医政活動研究会の開催をお願いしたい。本日出席の先生方には、各都道府県で活発な活動の推進をお願いしたい。」

第三部は菅義偉内閣官房長官から「安倍政権の目指す政治」と題し講演があった。

療ビジョンの策定、「医療事故調査制度のスタート」であるが、それぞれの課題に適切に対応していく必要があると考えている。

来七月施行予定の参議院比例代表（全国区）選挙においては、昨年十一月二十五日の執行委員会でも全会一致で自見はなこ日医連参与の推薦を決定しており、八月三日に自民党公認をいただいたところである。自



丸川珠代参議院厚生労働委員長

を振り返り政策決定の過程について詳しく説明を行った。とくに年末の予算編成過程においては十一月〜十二月の間が山場で、陳情活動もこの時期に、より積極的に行うことが大切であるとされた。また、『骨太の方針二〇一五』の内容についても詳しく、そしてわかりやすく解説を行った。

員、自見はなこ参与から挨拶があり、講演の部に移った。第一部は、今村聡副委員長より「政治活動なくして医療政策の実現はない！」と題し講演があった。

第二部は、丸川珠代参議院厚生労働委員長から「政治の動きと診療報酬改定財源」と題した講演が行われた。丸川参議院議員は厚生労働大臣政務官、自民党厚生労働部会長、参議院厚生労働委員長を務めた経験から、政府、党、国会のそれぞれの立場での経験

菅官房長官は「アベノミクス、外国人観光客に対するビザ緩和、農協改革、平和安全法制」について詳細に今までの安倍政権の取り組みと今後について説明を行った。

また社会保障政策については、『国民皆保険制度の持続と健康寿命の延伸の必要性』に触れ、地域医療を支えている医師会（医師連盟）への感謝と引き継ぎの協力要請があった。

研究会参加者は政権の中枢で活躍する菅官房長官、厚生労働分野で活躍する丸川参議院議員の熱のこもった講演に聞き入っていた。

研究会は中川俊男副委員長の挨拶で閉会し、会場を移し懇親会が行われた。

懇親会は限られた時間ではあったが、さらなる意見交換や各都道府県のメンバーから各県における医政活動への取り組みについての発表が行われ有意義な懇親会となった。



日医連医政活動研究会



# 横倉委員長

## 自民党幹部と相次ぎ面会

横倉義武日医連委員長は十月八日、第三次安倍改造内閣発足に伴う自民党役員人事において再任された高村正彦自民党副総裁、谷垣禎一自民党幹事長、二階俊博自民党総務会長、稲田朋美自民党政務調査会長、茂木敏充自民党選挙対策委員長、新たに自民党組織運動本部長に就任した山口泰明衆議院議員を自民党本部に訪問した。

それぞれの面会では、年末の予算編成に向け、必要な社会保障関係予算の確保について要請を行った。



二階俊博自民党総務会長



谷垣禎一自民党幹事長



高村正彦自民党副総裁



山口泰明自民党組織運動本部長



茂木敏充自民党選挙対策委員長



稲田朋美自民党政務調査会長



(左から) 今村聡日医連副委員長、竹内譲厚生労働副大臣

今村聡日医連副委員長は十月十五日、第三次安倍改造内閣で厚生労働副大臣に就任した竹内譲衆議院議員と面会した。

面会では、医療介護における諸課題について意見交換が行われ、今村副委員長からは、地域医療を守る観点からも社会保障に関する財源の確保・予算の確保について要請がなされた。

# 今村副委員長 竹内厚生労働 副大臣 と面会